

市政を問う

朝倉市民の想いを市政に 活力あるまちづくりを

質問者10人、傍聴者47人

一般質問は、年4回開催される定例会の中で行われます。ここに掲載したものは抜粋ですので、全文につきましては、会議録を閲覧されるか、市議会のホームページでご確認ください。

中島 秀樹 議員

- 質問項目
- 1 朝農跡地活用について
 - 2 朝倉市の成長戦略について
 - 3 朝倉市の情報発信について



Q 市議会の全員協議会で、JA筑前あさくらと覚書を交わすと説明を受けている。

A JAと何がしたいのか。朝倉市としては、農業の振興活性化を目指し、朝農跡地を加工・流通・販売戦略の拠点にしたいと考えている。さらに、6次産業化に向けた取り組みも考えている。これらの事業の実現に向けた要請をJAに行

Q 市長は朝農跡地活用をどう着地させるのか

A 任期中にもっと具体的な形で市民に示したい

った。引き続き協議を進めたい。

Q 現時点では具体的なものは決まっていないのか。

A 機関決定に至らず、公表できるものはない。

Q 跡地利用については非常に時間がかかっている。

A 排水や道路などのインフラ整備が解決すべき第一番目のハードルである。

Q 朝倉農業高等学校跡地活用事業費700万円の補正予算は何に使うのか。

A 報告書など専門的な業務を委託する。

Q 跡地利用にこれからも相当な時間がかかる。任期が1年弱となり、市長はこの問題をどのように捉えて着地させるのか。

A あれだけ広大な土地を利用するにあたり、今までの5年は時間がかかっているのか、いないのか、いろいろ考え方があがる。しかし、多くの市民が期待をしているので、この議会で700万円の予算補正をお願いし

ている。もっと具体的な形で市民に示すところまでは任期中にやっておきたい。

JAは有力なパートナー



JAは有力なパートナー

後期基本計画で、人口増への施策はあるのか

人口減少の分析に取り組んでいる状況である

鹿毛 哲也 議員

質問項目

- 1 人口増への取り組みについて
- 2 保育料について
- 3 市政アドバイザー制度について



人口増の取り組みを

後期基本計画の中に、人口増に対する森田市長としての新しい施策を加えたのか。

毎年総体的に色々な施策を打ち出している。特に職員の政策形成能力研修に

力を入れており、そのテーマに定住促進を入れようと考えている。

子ども医療費の取り組みについて、みやこ町は通院も入院も18歳まで優遇されているが、朝倉市でもできないのか。

現在も実施している子ども医療費助成事業をもとに、市長のモットーである「親と子と孫が一緒に暮らす朝倉市づくり」を目指して全力を傾注していきたい。

静岡県長泉町での人口増への取り組みは、企業誘致や、特に子育て支援を充実させることであるが、朝倉市もこういった部分を充実させたらどうか。

財政力指数や面積も違うので、簡単に比較できない。朝倉市としての各分野の取り組みを確実に推進したい。

保育料について

現在は、同時に3人が

保育所に入園していたら、3人目の保育料は無料になるが、同時に入所していても、子どもが3人いたら3人目は保育料を無料にするという施策は展開できないか。

3人目を無料にすることも大切だが、子どもを育てやすい地域づくりを行うことを本旨に置きたい。



子育て充実こそ人口増への近道

災害において、自主防災組織は機能したのか。

現場では区会長が中心となって活動されており、組織としてはまだまだ不十分であった。現場は右往左往し、思うように伝達ができなかった。

防災には防犯灯の設置



柴山 恭子 議員

- 1 安心・安全・地域づくり
- 2 甘木公園の今後の計画

災害において自主防災組織は機能したのか

向う二軒両隣 地域と行政が一体で取り組む

状況、連絡網の作成、道路マップなどの現状調査が必要だが、行っているのか。

現状調査はこれから行う。特に緊急時、災害時は行政だけでは限度があり、地元コミュニティと一緒に地域に応じて取り組んでいく必要がある。

今年度、自主防災組織を対象とした研修で、災害時の要援護者の個別計画の作成を計画している。

避難所のライフラインの確保はどのような状況か。

指定避難所は28か所あるが、全ての施設があらゆるケースに対応しているわけではない。関係課と協議を行い、計画的に施設の充実を図りたい。

子どもの安心・安全や虐待防止の観点から、親子が共に仲間づくりをする

ことができるように、地域の中心に木陰やベンチがある「子育て広場」が必要だと思うが。

立石地区であれば、公民館近の近くで、小学校跡地の木が茂った立派な場所を活用すればいいものが出て来ると思う。同じ状況の人たちが同じ悩みを話し合える場所は必要であると思う。



地域の中心に皆で集える広場を

道幅狭く、危険な道路の改良を早急に

市も県や地元とのパイプ役となり、努力する

今福 勝義 議員

- 1 県事業五角屋交差点及び周辺整備状況について
- 2 あいのりタクシーについて
- 3 自衛消防について



県事業道路改良工事について

金川校区の狭い道路について。道路改良工事の進捗状況は。

五角屋交差点については、平成24年度に田島地区の協力により4差路に向けて改良工事の方針が出され、

事業遂行している。

殖木入地甘木線、中島田地区改良工事と十文字交差点改良工事については、地元説明は終了しており、平成25年度から用地測量調査等を行う。特に十文字交差点付近は道幅が非常に狭く、道路拡張工事を含めて整備される予定である。

自衛消防隊の活動支援を

昼間に活動が出来る消防団員が少ないからこそ、

自衛消防隊が必要である。自衛消防隊の活動を支援する意味でも、可搬ポンプの無償払下げの検討をお願いしたい。

可搬ポンプの更新時は業者に引き取ってもらって

いるが、必要であればその情報を提供したい。購入や維持修繕については、補助制度があるので活用をお願いしたい。

自主防災組織と自衛消防隊との関連と、その具体的な育成支援はあるのか。

自分の地域は自分で守るといふ精神のもと、自衛消防隊も自主防災組織の一つの取り組みである。自主防災マップの作成、講演会、研修会等を通じて、地元と一緒に地域に合った組織を醸成していきたい。



十文字交差点付近の狭い道路

国際交流事業の推進や支援をどう考えているのか。

朝倉市主体の施策はない。民間団体が行っている交流をお知らせしたり、パンフレットを置いたりなどの支援はできる。

6月に朝倉高校の生徒が国連に招待され、朝倉市



大庭 きみ子 議員

- 1 心豊かに、人が輝くまちづくり

のグリーンウェイブの取り組みや「朝倉市」を紹介している。朝倉市として積極的な後押しをお願いしたい。

国際貢献や国際親善のすばらしさを体験出来たことは大きな収穫だと思う。国際交流全般は行政経営課が窓口となってやっていく。

市民祭りでは韓国の大學生との国際交流が深まった。朝倉市の魅力作りを行い、アジアからの交流人口を増やすことも大切ではないか。

外国人の方との相互理解や友好関係を築くおもてなしは大切だと思う。外国人の方と一緒に生活でき、楽しんでいただけるまちづくりを目指すべきだと思う。

朝倉市に定住されている外国人の方への対応や支援について尋ねる。

人権を尊重し、孤立す

ることがないように、地域で見守ることが大切である。

日本語や文化が解らなくて、コミュニケーションが取れず、家庭や地域で孤立したり、家庭不和になったりしていることもある。ボランティアで行っている日本語教室への育成と支援を考えていただきたい。

支援は必要だと思うが、行政がどう関わるかが問題である。ニーズに応じてどういった支援ができるのかを十分研究していきたい。



「日本語教室あさくら」でのクリスマス会の様子

国際交流や日本語教室への支援はないか

国際交流は大切だが、市主体の施策はない

副市長の朝倉市まちづくりの姿勢を問う

地元にはない視点で取り組みを支援したい

平田 梯子 議員

質問項目

- 1 朝倉市のまちづくりについて
2 集団検診について
3 風疹予防の取り組みについて
4 学校へ行きづらい子どもたちへの対応について



合併後7年を経過した朝倉市であるが、朝農跡地のインフラ整備の問題、住民活動、観光の情報発信など、まだまだ一体となって取り組めていない弱さがあると感じている。地域にしがらみのない副市長は、まちづくりへの提言や施策の実施

に対しての提言、示唆など勇気を持って行ってほしい。いわゆる「よそ者」の視点ということで、地元の方にはないような視点でまちおこしや地域づくりの取り組みを支援していきたい。

風疹ワクチン接種の助成を

風疹患者が今年になって全国的に増えている。朝倉市においてはどうか。また妊婦がかかることにより、風疹性症候群をもった乳児が産まれることも懸念されている。これから子どもを産みたいと思っている成人男女に風疹ワクチン接種の助成はできないか。

朝倉市内では、平成22年度から平成24年度までは0人、平成25年度6月上旬現在で3名罹患している。助成に関しては胎児に影響

があるので、何らかの対策を考えなければいけないが、自治体だけでやってどの程度の効果があるかは疑問である。国に要望を行う方が大事ではないかと思う。しかし、来年も患者が増えるのではないかと思われるので、内部で十分検討していく。

スクールソーシャルワーカーの業務を全職員に知らせてほしい。スクールソーシャルワーカーが4月当初全学校を訪問して、連携の方法や支援を要する児童生徒の確認をしている。



今年の風疹患者数は既に1万3千人近くに

健康な赤ちゃんを産み育てるための栄養を取るのに、お母さんが健康な歯でいることは大事な要素である。虫歯の原因の歯周病菌は、体内に入るとあらゆる病原に關係するという研究発表も聞いている。今の市の妊婦健診には歯科検診がない



村上 百合子 議員

- 1 福祉行政について
2 妊婦健診について
3 風疹について
4 甘木市街地活性化について

妊婦健診に歯科検診を導入すべきである

歯磨きの指導や検診は大切だと考える

ので、導入すべきである。3歳児健診の中で保護者に対して歯科検診を実施し、約7割の受診率である。20歳代から7割近くの方が何らかの歯周病状況にあるという調査がある。また、妊娠時の栄養や、歯や体の健康管理が、胎児だけでなく、出生後の子どもの虫歯や成人になつての生活習慣病の発生に關与することがわかっている。母子手帳交付時や母子学級時などに歯科検診を勧めている。

出産についての対策は徐々に進められているが、まだ経費的にも負担がかかる。そのような状況で、市の妊婦健診に歯科検診を導入したり、無料クーポン券の発行等を行ったりして、市の明日を担う健やかな赤ちゃんの健康を守っていただきたい。

妊婦は歯が痛むことがあるという話も聞いている。まずは徹底した歯磨きの指導をやるべきだと思う。予防医療策を進めるべきだ。朝倉市の国保特会は毎年増加し、不足分を繰上充用で賄っている状況である。胃がん検診にピロリ菌検査を導入し、さらに、風疹の予防接種の助成対策を取るべきだと思うが。

まだ検討の段階で、国に求めていると考えている。脳血管障害、肺炎、狭心症、低体重出産、歯周病のからだへの影響

